

第4章 地域別まちづくり方針



第4章 地域別まちづくり方針

■地域別まちづくり方針について

【地域別まちづくり方針の考え方】

「地域別まちづくり方針」は、今後の地域単位のまちづくりの指針となるもので、全体構想で示したまちづくり方針を踏まえるとともに、地域特性や住民意向を反映したよりきめの細かい「まちづくり方針」を示します。

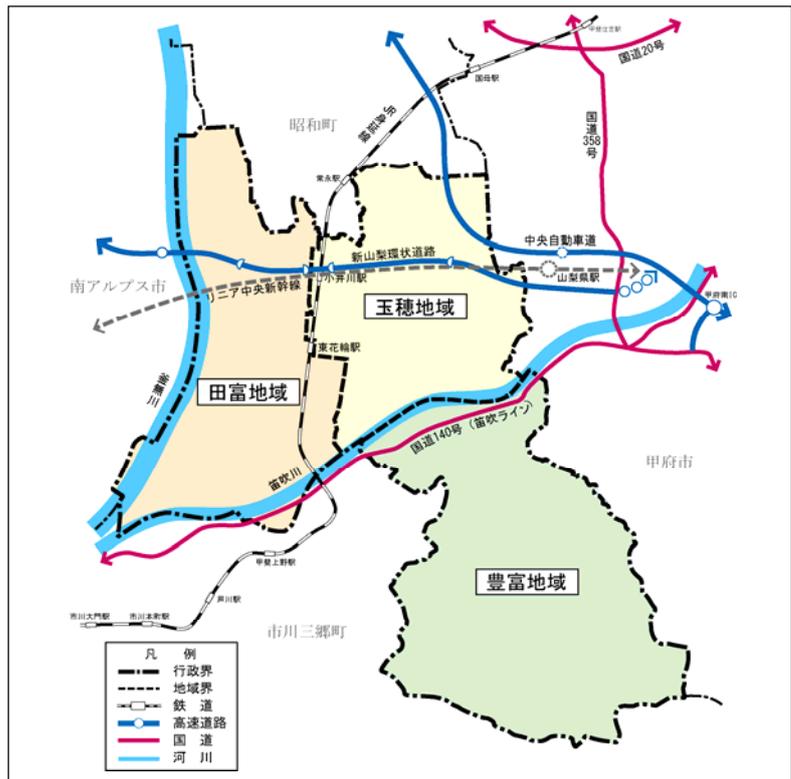
また、地域別まちづくり方針の改定にあたっては、過去に実施した各種アンケート調査結果や計画策定当初に実施した「まちづくり市民会議」などの市民意見や提案なども踏まえています。

【地域区分について】

地域区分については、現在の生活圏域を基本に、町村の合併経緯、地形や地域のまとまりなどを考慮して、右図に示すような3つの地域に区分しています。



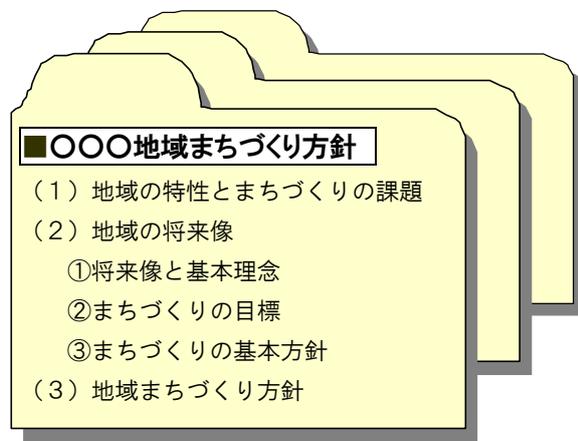
■地域区分図



【地域別まちづくり方針の構成】

- 地域別まちづくり方針は、3つの地域ごとに、地域の特性とまちづくりの課題、地域の将来像、地域まちづくり方針により構成し、それぞれに、市民意向を踏まえた内容でまとめています。
- 地域まちづくり方針の施策は、分野別まちづくり方針の中でも、その地域で取り組むべき主要なまちづくり施策を整理し、市民会議の提案などの市民意向を反映したまちづくりの方向性を簡潔に示しています。
- 「地域の将来像」(将来像、基本理念、まちづくりの目標、まちづくりの基本方針)については、地域住民が抱く地域の将来イメージやまちづくりに対する思いを共有し、本計画が市民にとって身近に親しみがもてるよう、「まちづくり市民会議」の提案を活用しています。

■地域別まちづくり方針の構成



※まちづくり市民会議から中央市へ提案された「地域まちづくり市民プラン」の内容については資料編参照

1 田富地域まちづくり方針

■位置

- 田富地域は、本市の北西部に位置し、北側は昭和町、西側は南アルプス市、南側は市川三郷町に隣接しています。
- 笛吹川と釜無川に挟まれ、地域南西部は両河川の合流部となっており、釜無川により形成された沖積平野に、北部から南部にかけて緩やかに傾斜した水田地帯が広がっています。
- JR 身延線東花輪駅が地域東側にあり、新山梨環状道路や中部横断自動車道南アルプスICに近接するなど広域的なアクセス条件に恵まれています。

■位置図

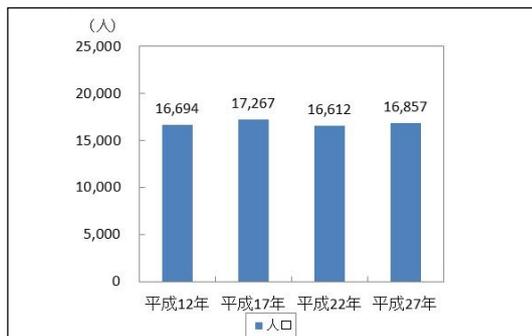


(1) 地域の特性とまちづくりの課題

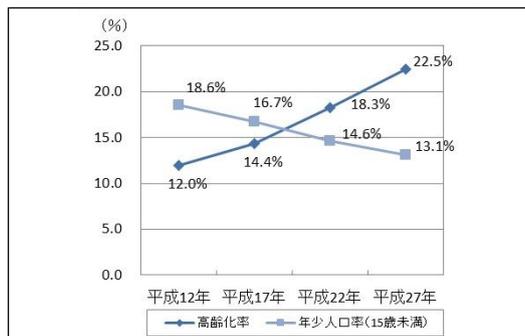
■地域の特性

- 人口は本市の過半数を占めていますが、近年は減少に転じ、少子高齢化が進行しています。
 下記グラフに示すように、田富地域の人口は、平成 27 年に 16,857 人で、本市人口の過半数、約 54% を占めており、平成 17 年をピークに減少に転じ、近年は緩やかな減少傾向にあります。平成 27 年の高齢化率は 22.5%、年少人口率は 13.1% ですが、着実に少子高齢化が進行しています。
- 農村地域から近代都市へ発展を遂げており、歴史・文化などの潜在的資源がみられます。
 中世から風水害等の自然災害にあいつつも稲作中心の農村として発達し、由緒ある社寺や伝統行事等の潜在的資源がみられます。近世は稲作を中心とした純農村地域として発達し、戦後は野菜等の都市近郊農業が基幹産業となりましたが、現在は、山梨県流通センター・山梨県トラックターミナルの整備や広域交通網の整備に伴い、近代都市としての発展をみせています。
- 田園都市的な土地利用を主体とし、地域北側は市街化が進行しています。
 地域は甲府都市計画区域に属しており区域区分が指定されています。昭和 50 年代に民間の大規模な宅地開発が行われ、公共においても鍛冶新居土地区画整理事業等が実施され、市街化が進行しています。なかでも、鍛冶新居地区、リバーサイド地区、東団地地区、桜団地地区では地区計画が定められており、計画的な市街地形成が進められているとともに、平成 31 年度には新市役所の建設が完了し、現在、中央市総合防災公園の建設が進められています。一方、地域南側には優良農地が広く分布しています。
- 広域交通や都市間アクセスに恵まれています。
 高規格道路として、新山梨環状道路が東西に横断し、中部横断自動車道南アルプスICに近接するなど広域交通アクセスに恵まれています。南北方向の(主)甲府市川三郷線、東西方向の(主)韮崎南アルプス中央線等が地域の骨格道路となっています。また、地域東側に立地する JR 身延線東花輪駅は、平成 25 年 3 月にロータリー広場や駐輪場が整備され、本市の交通結節点・玄関口としての機能強化、魅力の向上が図られています。
- 地域南側は農業が盛んですが、北側は流通団地や大型店舗が集積しており、既存商店街の衰退が懸念されています。
 地域南側は水田やトマト・キュウリといった野菜の都市型農業が盛んですが、農業は近年高齢化など厳しい状況にあります。一方、地域北側は流通団地やリバーサイド地区における大型店舗などが立地し、地域南側とは異なる表情をもっています。また、地域中央に既存商業地が集積していますが、大型店舗の立地等により衰退が懸念されています。
- 釜無川・笛吹川に囲まれた田園風景、山岳を望む眺望景観など広がりのある郷土景観を有しています。
 南アルプスや八ヶ岳を望む眺望景観と田園風景、釜無川と笛吹川の合流する親水空間、潤いある水辺空間などの環境や、四季新鮮収穫広場「た・から」農産物直売所等のレクリエーション施設があります。

■地域の人口・世帯の推移



■地域の少子高齢化の状況

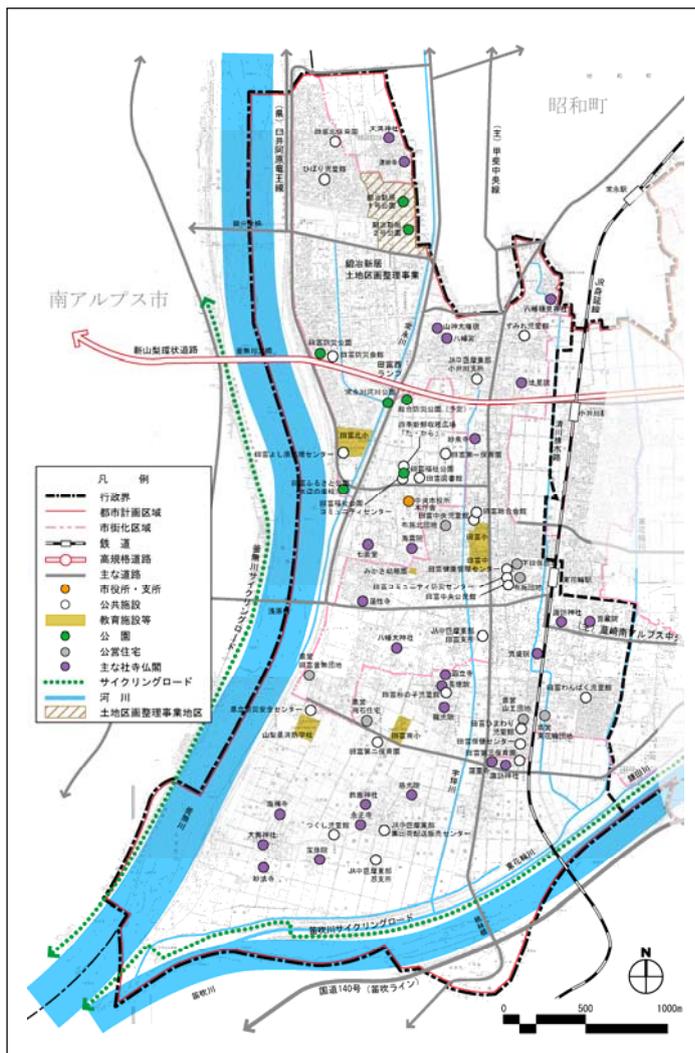


[資料: 国勢調査 (平成 12 年、平成 17 年、平成 22 年)、住民基本台帳 (平成 27 年)]

■ 主要なまちづくりの課題

- リニア中央新幹線山梨県駅と JR 身延線を結ぶ道路・交通網の整備、玉穂地域と連絡する東西方向の幹線道路や未整備の都市計画道路など、体系的な道路交通網の再編・整備が必要です。また、本市の玄関口となる東花輪駅周辺については、本市の交通結節点（中心拠点）にふさわしい駅前の魅力づくりや歩行者を重視した安全でホッとする歩きやすい道づくりが必要です。
- 高齢化や後継者不足等に悩む農業の活性化や観光農業の振興、既存商業地の活性化、企業誘致の促進など、地域が元気になるまちづくりが大切です。
- 無秩序な市街化の抑制と優良農地の保全とともに、リニア中央新幹線、中部横断自動車や新山梨環状道路（東部・北部区間）の整備と連携し、将来的な都市の発展を見据えた計画的な土地利用を進めることが大切です。
- 潤いある親水空間や水辺景観、田園景観、水田地帯から望む山岳眺望景観などの保全・活用とともに、潜在的な歴史・文化資源を再認識し、地域資源を活かした郷土の景観・環境づくりが大切です。
- 誰もが暮らしやすさを実感できる生活基盤整備をはじめとし、福祉を重視した環境整備、水害など災害への備えと地域の絆による安全・安心なまちづくりを進めることが大切です。また、地域間・世代間交流を促すコミュニティ活動の再生と、リバーサイドタウンなどの高齢化をはじめ、外国人居住者を含めた新旧住民の交流など、新たな地域コミュニティの形成が望まれています。

■ まちづくり市民会議（平成 20 年度開催）における住民意向



■ 主な地域住民意向—まちづくり市民会議

- ・ 将来都市構造を見据えた土地利用の推進
- ・ 道路整備と一体的となった計画的な土地利用の推進
- ・ 農地のもつ多面的機能の維持・保全
- ・ 既存商店街など身近な生活サービス機能の充実
- ・ 中央市全体の交通体系の見直し
- ・ 骨格道路の安全性向上、東花輪駅周辺の改善整備
- ・ 危険な道路・交差点・踏切の改善
- ・ 人が安全に歩きやすいホッとするみちづくり
- ・ 高齢者が行き交う交通システムづくり
- ・ もうかる農業の工夫と農業担い手の確保
- ・ 地域農業と食の安全・PRの充実
- ・ 盆地からの山岳眺望景観のまちづくりへの活用
- ・ 農地・田園景観の保全と公共用地の適切な緑化
- ・ 原点回帰、歴史・文化資源の顕在化と保護
- ・ 下水道整備の推進と接続促進、河川などゴミ対策
- ・ 身近な公園整備、静かで住み良い環境の維持
- ・ 誰もが暮らしやすさを実感できるまちづくり
- ・ 農地のもつ洪水調整機能、水害・洪水対策の強化
- ・ 地震災害対策の推進、自主防災の維持・向上
- ・ 子どもの通学に配慮した小学校区の再編
- ・ コミュニティ活動の再生と新たなコミュニティの形成、ニュータウン高齢化への対策 など



・ まちづくり市民会議ワークショップ

(2) 田富地域の将来像

① 将来像と基本理念

■ 将来像

誰もが安心して暮らせる 活かに満ちた快適で便利なまち

■ 基本理念

水と食を基本に、良いものを活かし、文化とふるさとへの思いを育む

地域は沖積平野に広がる農業地域として長い歴史をもちますが、近年は、広域的な道路網整備や都市化の進行により、少しずつこの風景や暮らしが変容しつつあります。しかし、風水害に対し手を携え向かい合った歴史性や、古き良き伝統行事、向こう三軒両隣のコミュニティなど郷土を物語る潜在的な地域資源も数多く内包しています。この水と向かい合った文化と特色ある農業・食文化を根幹として、今ある良いものを活かし、次代へ文化とふるさとの思いを継承することを基本理念に、誰もが便利さと快適さを享受し安心して暮らせる、活かに満ちた元気なまちづくりを進めます。

② まちづくりの目標

- 便利さと住み心地の良さを誇れるまちづくり
- 地域活動や交流が盛んな活力あるまちづくり
- 子や孫たちに受け継ぐ安全・安心なまちづくり
- 子どもから高齢者までみんなにやさしいまちづくり



③ まちづくりの基本方針

- 1)体系的な道路交通網の整備と歩行者を重視した安全で快適なまちづくりを進めます。
- 2)地域農業の振興と交流が盛んな地域が元気になるまちづくりを進めます。
- 3)将来的な都市の発展を見据えつつ、地域と共生する計画的な土地利用を進めます。
- 4)歴史・文化資源の顕在化と地域資源を活用した景観・環境づくりを進めます。
- 5)誰にもやさしい身近な住環境整備と地域の絆による安全・安心なまちづくりを進めます。



・リバーサイド地区周辺



・四季新鮮収穫広場「た・から」農産物直売所

(3) 地域まちづくり方針

1) 体系的な道路交通網の整備と歩行者を重視した安全で快適なみちづくりを進めます。

地域は広域交通アクセスに恵まれ、本市の玄関口ともなる東花輪駅が位置していますが、市街化が進行する地区と古くからの既存集落地があることから、地域内交通の整序とともに周辺地域との連携強化など都市全体としての道路交通網の整備が望まれています。

そのため、地域の骨格となる東西及び南北方向の幹線道路の整備を進めるとともに、リニア中央新幹線山梨県駅と JR 身延線を結ぶ道路交通網の整備、本市の玄関口となる東花輪駅の交通結節機能の更なる強化、中心拠点や地区拠点にふさわしい歩行者を重視した安全で快適なみちづくりを進めます。

① 地域内道路交通網の整序と市全体を見据えた交通体系の見直しと強化

■骨格的な幹線道路の機能強化

- 新山梨環状道路の早期全線開通の要請
- 地域や周辺都市との連絡を担う主要幹線道路の機能強化（(主) 甲府市川三郷線、(主) 韮崎南アルプス中央線など）

■都市間連携を図る東西方向・南北方向の幹線道路の整備

- 市道田富玉穂大津線の整備推進（リバーサイド地区～中央市役所～リニア山梨県駅方面を結ぶ本市の主要な東西幹線道路）
- （都）大手二丁目浅原橋線の整備促進（県への要請）
- （主）甲府市川三郷線の機能強化（県への要請）○田富南北道路（構想）の検討（田富西ランプ～中央市役所～国道 140 号（市川三郷町）を結ぶ南北方向の幹線道路）

■都市計画道路の整備推進

- 「中央市幹線道路網整備計画」に基づく都市計画道路の整備推進

■主要生活道路の改善・整備

- 幹線道路と生活道路の機能分離、市街地や郊外地域を結ぶ市道等の主要生活道路の改善・整備
- 狭あい道路や行き止まり道路など、交通安全、防災上問題のある生活道路の段階的な改善整備

② 歩行者を重視した交通システムづくり

■歩きやすいホッとするみちづくりの推進

- 交通量が多く、歩道が未整備な幹線道路や通勤・通学ルートとなっている道路の歩道整備や路側帯の確保などの推進
- 市街地内の魅力資源をつなぐ身近な散歩道の検討
- 笛吹川及び釜無川のサイクリングロードの整備（国への要請）

■道路、交差点、踏切の交通安全対策の強化

- 交通安全施設の整備充実
 - ・信号、横断歩道、ガードパイプ、カーブミラー等の設置
- 踏切の改善・安全性の確保
- 通学路の交通安全対策の推進
 - ・車の走行速度抑制、ゾーン 30 の指定、街灯設置など



・改良された西花輪交差点

③ 誰にもやさしい公共交通のシステムづくり

- 東花輪駅の交通結節機能の充実
- コミュニティバスの運行継続
- 将来に向けた持続可能な交通環境やバスネットワークの検討

2)地域農業の振興と交流が盛んな地域が元気になるまちづくりを進めます。

地域が元気になるために、今あるものを上手に活かし、どんな時代にあっても本市の基幹産業である農業を維持し元気にすることが大切です。

そのため、農業の活性化をはじめ、観光と農業の連携や、交流を育むまちづくりの推進、既存の商業地の再生と連携した賑わいの核づくりなど、まずは住む人が元気になり、次に地域の活性化へと波及するまちづくりを進めます。

①地域農業の活性化

- 優良農地の保全と農業生産基盤の充実
 - ・農業基盤整備の推進、都市型農業の確立など
 - ・「人・農地プラン」の実質化に向けた取り組み推進
 - ・鳥獣害対策の推進
- 耕作放棄地や遊休農地の有効利用
 - ・農地中間管理事業による幹旋
- 農業後継者、担い手の育成
 - ・農業委員会、中央市農業振興公社等による就農希望者への農地幹旋、農業へのインターンシップの導入、UJターン就業と農業の連携、認定農業者・エコファーマーへの支援充実など
- 地域がうるおう農業の工夫
 - ・農畜産物のブランド化や付加価値化・商品開発、企業と連携した特産物等の付加価値向上、6次産業化の推進、四季新鮮収穫広場「た・から」農産物直売所での販売力の強化、地産地消の推進食育と食の安全・PRの充実、農畜産物ブランド化に資する農村景観の維持・保全など
- 最先端のロボット技術やICTを活用したスマート農業の普及推進
- 都市住民との交流促進
 - ・四季新鮮収穫広場「た・から」農産物直売所の活用、観光農業の推進、都市農村交流施設の整備など

②身近な商業地の活力向上と地域産業の振興

■商業地のにぎわい再生と利便性の高い身近な生活サービス機能の充実

- 歩いて買い物ができる既存商業地の環境改善とにぎわいの再生
- 大型店舗集積地の利便性の向上
 - ・コミュニティバスの運行、大型店舗内へのコミュニティ施設の設置など

■工業等の活性化と雇用の促進

- 優良企業の誘致促進
- 企業集積を活かしたまちづくり
 - ・工場見学、地場製品のPRなど
- 企業等を支える環境づくり
 - ・県と連携した優遇措置等の支援策の推進、人材・労働力の供給、異業種交流や産学官連携強化など



・リバーサイドの大型店舗

■新たな産業の育成

- リニア中央新幹線山梨県駅の開業や中部横断自動車道の南部区間の全線開通を見据えた企業や流通関連施設の誘致の推進
- 産官学連携による新たな地域産業の育成

③交流が盛んな活力あるまちづくりの推進

■レクリエーション拠点の機能強化と観光機能を担うルート・交流基盤の整備

- 中央市総合防災公園の整備推進
- 観光・交流拠点の機能強化と魅力づくり（四季新鮮収穫広場「た・から」農産物直売所など）
- 住民・来訪者の交流を促す魅力あるまちのにぎわい交流軸の形成
- 周辺都市と連携した活性化・交流機能を担う周遊ルートの魅力向上（（主）甲府市川三郷線、（主）
 韮崎南アルプス中央線、市道田富玉穂大津線など）、身近な散歩道の設定
- 中心拠点である東花輪駅周辺の魅力の向上、JR身延線の観光利用の促進
- 駐車場、トイレ、休憩スポット、案内板・サイン、案内所など主要な交流基盤施設の整備充実

■地域資源を活用した活気あるまちづくりの推進

- 歴史文化資源、ふるさとの農地・田園景観、眺望景観の観光利用の促進
- 中央市ふるさとまつりなど行事・祭りの充実とPR、地域ぐるみの資源の発掘と活性化への取り組み推進



・釜無川の流れ

3) 将来的な都市の発展を見据えつつ、地域と共生する計画的な土地利用を進めます。

本地域北部は、鍛冶新居区画整理事業、リバーサイドタウンや山梨県流通センター・山梨県トラックターミナル等の計画的な市街地整備が実施され、新山梨環状道路周辺においても市街化が進みつつあります。一方、地域南部の低地部には豊かな農地・田園景観が広がっています。

将来的にリニア中央新幹線山梨県駅の開業が予定され、土地利用の変化に大きな影響が予想されていますが、今後も都市の発展を見据えつつ、ふるさとの自然や農の風景を損なわず、地域と共生する計画的な土地利用を推進します。

① 計画的な土地利用の誘導による良好な市街地の形成

■ 計画的な土地利用の検討

○ 用途地域の見直し検討

- ・ リニア中央新幹線の開業を見据え、地域の実情にあった適切な用途地域の見直し検討
- ・ 都市機能集積拠点（商業拠点）の適切な用途地域の見直し検討

○ 市街化調整区域の計画的な土地利用の検討

- ・ リニア中央新幹線の開業を見据えた土地利用転換検討ゾーンの計画的な土地利用の検討
- ・ 市街化調整区域内既存集落地の適正な土地利用の誘導（都市計画法第 34 条に基づく条例や地区計画の活用）

■ 地域特性に応じた良好な市街地の形成

○ 良好な住宅地の形成

- ・ 基盤未整備な住宅地の環境改善（道路、下水道等）
- ・ 土地区画整理事業地の住宅建設等の促進

○ 既存商業地の環境改善

○ 工場等と調和した良好な市街地の誘導（環境の維持向上）

○ 市街化区域内に介在する農地の計画的な土地利用の誘導

- ・ 優良農地と宅地化農地の区分による適切な土地利用の誘導
- ・ 優良農地に対する生産緑地指定等の検討、市民農園等の利用促進

■ 多様な都市拠点の形成

○ 中心拠点の形成（東花輪駅・中央市役所周辺）

- ・ 東花輪駅・中央市役所周辺の中心拠点の形成と都市機能の集積

○ 都市機能集積拠点の形成（リバーサイド地区（商業拠点となる商業集積地区、流通拠点となる山梨県流通センター・山梨県トラックターミナルを含む））

○ レクリエーション拠点の形成（四季新鮮収穫広場「た・から」農産物直売所、中央市総合防災公園など）

② 計画的な土地利用による農地の保全と良好な郊外住宅地の形成

■ 優良農地の保全と活用

○ 防災・活性化・景観などの多面的機能を持つ優良農地の維持・保全、農地の集約化、農業基盤整備の促進、耕作放棄地や遊休農地の有効利用の促進

- ・ 就農希望者への耕作放棄地の貸出し

■ 郊外住宅地・集落地の住環境の維持・改善

○ 水辺環境の保全と活用

- ・ 水辺環境の保全、河川改修と連携した河川緑地や親水空間の整備

○ 生活道路や排水施設、下水道、公園・広場、コミュニティ施設など生活環境の改善

○ 周辺地域との連携による生活利便施設の効率的な配置とアクセス機能の強化

4)歴史・文化資源の顕在化と地域資源を活用した景観・環境づくりを進めます。

本地域は、水害との闘いの歴史を乗り越えてきましたが、その水に育まれた豊かな田園地帯、山々を一望する眺望景観、歴史文化資源など、豊かな景観資源に恵まれています。

平成26年10月に策定した「中央市景観計画」に基づき、これらの大切な資源を掘り起こし、育み、原点へ回帰したふるさとの景観を創出していきます。

①自然環境の保全と活用

- 笛吹川、釜無川など良好な水辺環境の保全とレクリエーション活用
 - ・水辺の楽校などでの環境教育やふれあいの場づくり、ビオトープ空間の創出など
- 貴重な動植物の生息環境の保全
- 河川や清川排水路などの水質保全と適正な維持管理の推進
 - ・下水道の整備推進、浄化槽の適正な維持管理の推進など

②地域資源を活用した景観まちづくりの推進

■歴史文化的景観資源の顕在化と地域資源のまちづくりへの活用

- 360度の眺望が広がる水田景観と山岳眺望等の景観の保全とビューポイントの整備
- ふるさとの自然資源である農地・田園景観の保全、特徴ある農村・集落地景観の保全と活用
- 旧小井川郵便局などの歴史的建造物、八幡穂見神社、八幡大神社などの歴史的景観資源の保全と活用
- 水害の歴史の検証
 - ・洪水により失われた有形の文化、今日に培う多くの無形の文化等の再検証
- 時代にそった新しい文化の創出
- 原点回帰の景観資源の見直しと活用
 - ・農地・田園景観の文化資産の顕在化、主要な社寺の保全、地域の身近な古き良き歴史文化の顕在化、地域連携を高める地域の祭り・社寺葬祭等の再認識など
- 伝統ある行事・祭事の保全と継承（神楽（浦安の舞）、粘土節、ふるさとふれあいまつりなど）



・旧小井川郵便局

■ふるさとの顔づくりの推進

- まちの顔となる拠点の魅力づくり（中心拠点（東花輪駅・中央市役所周辺）、レクリエーション拠点（四季新鮮収穫広場「た・から」農産物直売所、中央市総合防災公園））
- 笛吹川、釜無川等の骨格的な水と緑の軸、既存商業地のまちのにぎわい交流軸、（主）甲府市川三郷線、（主）韮崎南アルプス中央線等の活性化・交流機能を担う主要ルートなどを活用した魅力ある景観ネットワークの形成
- 景観資源を結ぶ身近な散歩道づくり
 - ・ルート設定、ポケットパークやサイン、トイレ等の整備など

■「中央市景観計画」に基づく良好なまちなみの誘導

- 地域特性に応じた適切な景観コントロールの推進
 - ・良好な眺望を守る高さ規制、屋外広告物やごみの不法投棄などの景観阻害要因の改善、良好なまちなみ景観の誘導など
- 協働による景観まちづくりの推進
 - ・花植活動等の地域活動、ルールづくりなど

③みんなで創る花と水と緑のまちづくり

- 中央市総合防災公園の整備推進
- 水と緑のネットワークづくり
 - ・ 笛吹川、釜無川のサイクリングロードの充実（国への要請）散策ルートの整備など
- 身近な緑の保全と活用
 - ・ 優良農地の計画的な保全、耕作放棄地や遊休農地の有効利用の促進、雑木林、社寺林、屋敷林、大木・古木等の身近な緑の保全
- 公園や公共施設等の適切な緑化など地域特性に応じた緑化の推進

5) 誰にもやさしい身近な住環境整備と地域の絆による安全・安心なまちづくりを進めます。

利便性と住み心地の良さを誇り、次代を担う子ども達にその良さを受け継ぐために、災害の備えなど安全・安心なまちづくりをはじめとし、身近な住環境整備や子どもからお年寄りまで皆にやさしいまちづくりを進め、交流が盛んで地域のコミュニティや絆をみんなで支え合うまちづくりを進めます。

①防災まちづくりの推進

■水害・洪水対策の強化

- 内水氾濫対策の推進
 - ・ 農地の洪水調整機能を見直した計画的な保全、開発に伴う調整池の設置による雨水流出量の抑制、公共施設や各戸への雨水貯留施設・浸透枳・緑地の設置、河川改修の促進、上流市町村との調整や流域全体での土地利用調整などの協力体制による流出抑制の促進など
- 水害の危険性の高い主要河川の治水安全対策の強化、堤防の改善促進（国、県への要請）

■水害・地震・火災など災害に強いまちづくりの推進

- 主要な防災拠点の機能強化（中央市役所及び中央市総合防災公園）
- 防災備蓄倉庫設置計画に基づく防災備蓄倉庫の設置
- 指定避難場所（避難所・避難地）の機能の充実
- 緊急輸送道路の機能強化（(主)甲府市川三郷線など）
- 橋梁、道路、上下水道など社会基盤施設の耐震化や液状化対策の推進
- 「中央市小中学校施設長寿命化計画」に基づく非構造部材の耐震化の推進
- 木造密集住宅地の環境改善
 - ・ 狭あい道路の解消、避難ルートの確保、倒壊の恐れのあるブロック塀の改善など

■地域防災体制の強化

- 既存の防災組織の強化
 - ・ 自主防災会への支援
- 防災意識の向上・普及啓発
 - ・ 中央市防災マニュアルの周知
 - ・ 広域避難の検討、避難方法の検討と周知



・ 防災拠点となる中央市役所



・ 県立防災安全センター

②身近な住環境整備の推進

■あるものを上手に使う身近な生活環境の改善・整備

- 主要生活道路の改善整備、快適な歩行者空間の確保、交通安全対策の推進
- 身近な公園・緑地の整備、指定管理者制度の導入による効率的な維持管理など
- 公共下水道事業の推進（未整備地域）
- 市街化調整区域の汚水処理方法の検討
 - ・公共下水道、合併処理浄化槽等の適切な汚水処理方法の検討と整備の促進など
- 「中央市公共施設等総合管理計画」に基づく公共施設の適正な維持管理の推進
- 「中央市小中学校施設長寿命化計画」に基づく施設の改修
- 防犯まちづくりの推進
 - ・防犯訓練等の充実、地域住民と連携した防犯対策の促進、街路灯・防犯灯設置など

■良質な住まいづくりの推進

- 土地区画整理事業地区への定住促進
- 「中央市公営住宅長寿命化計画」に基づく市営住宅の計画的な改善・建て替えの推進
- 二地域居住・田舎暮らしの促進
 - ・空き家・土地情報の提供など定住促進策の充実

■環境に配慮したまちづくりの推進

- 自然環境に配慮した環境負荷の軽減、循環型社会の創出など環境にやさしいまちづくりの推進
- ごみなどの不法投棄の防止
- ごみの分別・減量化と資源リサイクルの推進

③誰もが暮らしやすさを実感できる福祉のまちづくりの推進

■施設のバリアフリー化の促進

- 主要な市民利用施設のバリアフリー化（東花輪駅、バス等の公共交通機関、中央市役所周辺や主要な公共施設など）
- 大型店舗施設など主要な民間施設のバリアフリー化への適切な誘導
- 重点的なバリアフリー促進ゾーンの検討（中央市役所周辺など）

■安心して暮らせる福祉の環境づくり

- 田富総合会館など既存の福祉施設や福祉サービスの充実
- 高齢者・障がい者等に配慮した生活環境の充実
 - ・居住サポート、公共交通の充実、社会参加の促進など
- 地域のかかりつけ医と山梨大学医学部附属病院との連携などによる在宅医療体制の充実
- 子育て環境の充実
 - ・「中央市子ども・子育て支援事業計画」に基づく支援の充実
- 健康づくりの推進
 - ・健康づくりの支援充実（健康相談、健康教室、ウォーキングなど）
 - ・安全・快適な散策道の設定

■温故知新で力を合わせる活力あるコミュニティづくり

- 地域コミュニティ活動の再生・活性化
 - ・向こう三軒両隣のふれあい、地域活動、地域間・世代間交流、外国人居住者のコミュニティ活動への参加など
- その他の文化・交流活動の活性化（生涯学習活動、図書館活動、スポーツ活動など）

■田富地域まちづくり方針図



2 玉穂地域まちづくり方針

■位置

- 玉穂地域は、本市の北東部に位置し、北側は昭和町、東側は甲府市に隣接しています。
- 笛吹川が地域南側を横断し、釜無川によって形成された沖積平野が、北部から南部にかけて緩やかに傾斜した地域となっています。
- JR 身延線小井川駅が地域西側にあり、新山梨環状道路や中央自動車道甲府南IC、甲府昭和IC、開業が予定されているリニア中央新幹線山梨県駅に近接するなど広域的なアクセス条件に恵まれています。

■位置図

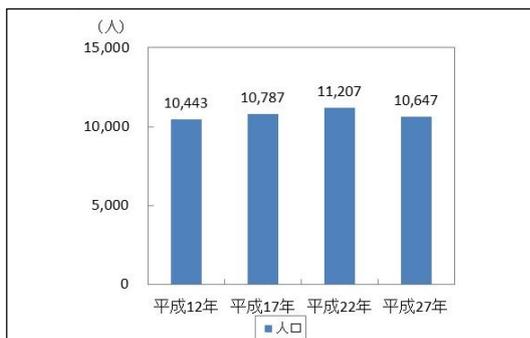


(1) 地域の特性とまちづくりの課題

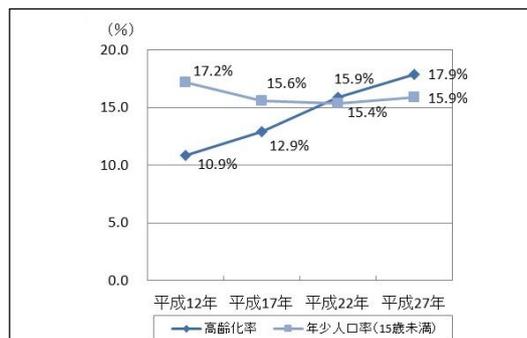
■地域の特性

- 人口は横ばいですが、高齢化率は3地域で最も低く、年少人口率は最も高くなっています。
 下記グラフに示すように、玉穂地域の人口は、平成27年10,647人で、本市人口の約34%を占めています。人口は横ばいで、高齢化率は17.9%と3地域で最も低く、年少人口率は15.9%と最も高いなど、比較的若い世代が多いのが特徴です。
- 風水害と闘った農村地域として発達し、近年は、利便性の高い生活文化都市へと著しい発展を遂げています。
 中世から風水害等の自然災害にあいつつも稲作中心の農村として発達し、永源寺等の由緒ある社寺等の歴史文化資源があります。近世は稲作を中心とした純農村地域として発達し、戦後は野菜等の都市近郊農業が基幹産業となりましたが、現在、リニア中央新幹線山梨県駅や新山梨環状道路をはじめとした広域交通網の整備や土地区画整理事業等により生活環境の整った利便性の高い都市へと著しい発展をみせています。
- 優良農地が分布する集落地・住宅市街地が主体ですが、地域北側は開発や市街化が進行しています。
 地域は甲府都市計画区域に属しており区域区分が指定され、国母工業団地や山梨ビジネスパーク等の工業団地の整備、近年、山梨大学医学部周辺等の土地区画整理事業が完了し、市街化が進行しています。なかでも、山梨大学医学部周辺には地区計画が定められており、良好な住環境の市街地が形成されています。一方、笛吹川や南北を流下する神明川等の河川周辺に優良農地が分布していますが、リニア中央新幹線山梨県駅の開業に伴い開発圧力が高まることが予想されます。
- 広域交通の整備が進み、リニア中央新幹線山梨県駅にも近接し、交通利便性の高い地域となっています。
 高規格道路として、新山梨環状道路が東西に横断し、中央自動車道甲府南ICや整備が予定されている(仮称)甲府中央スマートICに近接するなど広域交通アクセスに恵まれています。南北方向の(主)甲府中央右左口線、東西方向の(主)韮崎南アルプス中央線等が地域の骨格道路となっています。また、地域の東側に隣接してリニア中央新幹線山梨県駅の開業が予定され、西側にはJR身延線小井川駅が立地しています。
- 野菜を中心とした近郊型農業が進むとともに、工業団地等の商工業の集積する地域となっています。
 笛吹川等の河川周辺は稲作や野菜等の農業が盛んですが、地域北部は、山梨大学医学部周辺の大規模店舗等の商業集積地や国母工業団地の立地、地域南部は山梨ビジネスパークや一町畑工業団地等の工業団地が立地し、企業の進出などにより商工業の集積する地域となっています。
- 社寺等の歴史文化資源や笛吹川の親水空間、360度の眺望景観など潜在的な地域資源を有しています。
 笛吹川の親水空間や田園から周囲360度の眺望景観、永源寺や歓盛院の国指定重要文化財等の歴史文化資源や、玉穂ふるさとふれあい広場等のレクリエーション施設があります。

■地域の人口・世帯の推移



■地域の少子高齢化の状況

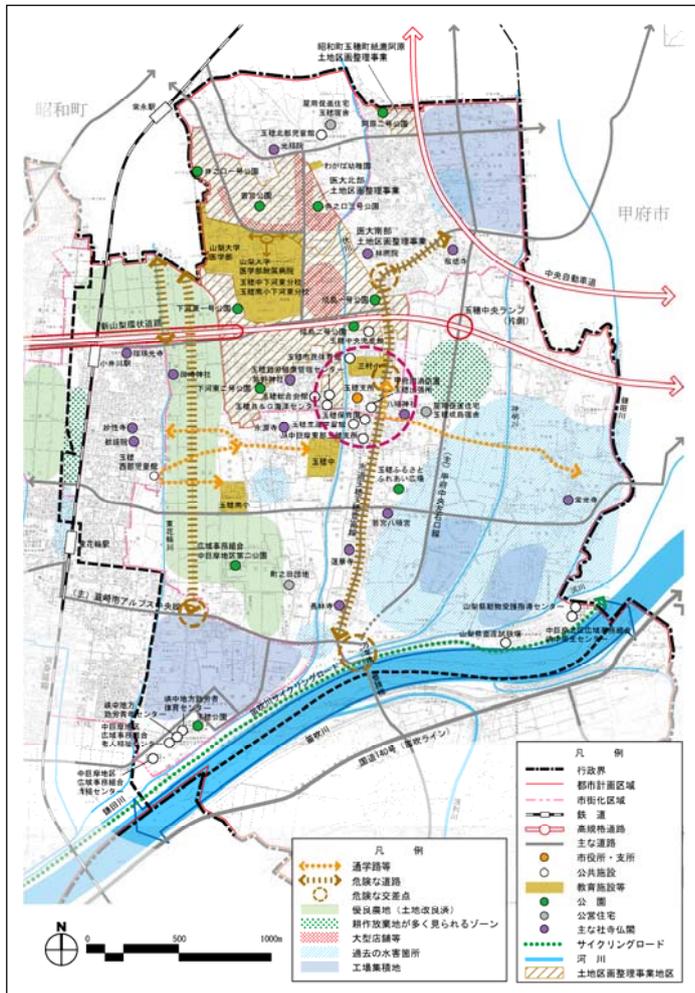


[資料：国勢調査(平成12年、平成17年、平成22年)、住民基本台帳(平成27年)]

■主要なまちづくりの課題

- 開業が予定されているリニア中央新幹線山梨県駅に近接していることから、新駅周辺地域においては、将来を見据え、浸水ハザードへの適切な対策を講じた上での計画的な市街地整備や地域の特性に応じた適正な土地利用の誘導など、良好な都市環境を維持するための計画的な土地利用の転換が必要です。
- 田富地域と連絡する東西方向の幹線道路、未整備な都市計画道路など、周辺地域と連携する体系的な道路交通網の再編・整備が必要です。また、小井川駅の交通結節点としての機能強化や山梨大学医学部周辺など多様な拠点を結ぶ公共交通の充実、歩道整備や歩いて楽しいみちづくりを進めることが必要です。
- 地場産業である農業の振興とともに、リニア中央新幹線山梨県駅の開業を見据え、山梨大学医学部や大型店舗の立地、山梨ビジネスパークや国母工業団地等の工業集積地、良好な眺望景観等の地域資源を活かした、新たな魅力を創出する活力あるまちづくりが大切です。
- 笛吹川の親水空間や水辺景観、田園景観から望む山岳眺望景観などの保全・活用とともに、これまでに培われた文化的な環境や潜在的な歴史資源を再認識し、今に活かす郷土の景観・環境づくりが大切です。
- 本地域の暮らしやすさを維持するため、身近な道路や公園などの生活基盤整備、災害や犯罪に強いまちづくり、山梨大学医学部と連携した健康・福祉のまちづくりなどを進めることが大切です。また、地域交流や世代間交流などの地域のふれあいを創出し、ともに高め合うまちづくりが望まれています。

■まちづくり市民会議(平成20年度開催)における住民意向



■主な地域住民意向—まちづくり市民会議

- ・3つのエリア特性に応じた土地利用、バランスある発展、山梨大学医学部周辺のみ偏るまちづくりの是正
- ・優良農地を守る、耕作放棄地の有効活用
- ・甲府都市計画にしばられない柔軟な土地利用
- ・玉穂中央ランプ周辺の計画的な市街地整備
- ・合併を契機とした全市的な道路網の見直し
- ・玉穂中央通り線の北伸、及び南部区間の整備
- ・玉穂と田富を結ぶ東西道路の早期整備
- ・新山梨環状道路側道の交通安全対策の強化
- ・市道玉穂豊富線の魅力的な生活道路への転換
- ・市内循環バスなどバス路線の充実
- ・歩道整備、安全な通学路、野みちの活用
- ・山梨大学医学部を活用したまちづくり、周辺への集中投資
- ・大型ショッピングセンター等の集積の活用
- ・工業団地への企業誘致、工業集積を活用した活性化
- ・周辺都市へ移動しやすい地の利・利便性を活かす
- ・豊かな水辺環境を守り活用する
- ・360度の良好な眺望の活用(高さ規制等)
- ・歴史資源の活用、山梨大学医学部交響楽団や文化人の活用
- ・狭い道路、行き止まり道路の改善、隅切り設置
- ・生活道路の街灯設置、既存公園・広場の利用促進
- ・こみのポイ捨て禁止条例の徹底、環境まちづくり
- ・水害危険箇所、冠水地域の解消、防災まちづくり
- ・山梨大学医学部と連携した全市的な健康プログラムの推進
- ・子育て支援センター設置、福祉タクシーの導入
- ・高い教育水準や学校間の交流を活用する など



・まちづくり市民会議ワークショップ

(2) 玉穂地域の将来像

① 将来像と基本理念

■ 将来像

安全・安心 日本一暮らしやすいまち

■ 基本理念

暮らしやすいまちづくり

地域は交通アクセスに恵まれ、高度な医療施設の立地や商工業の集積地があるとともに、豊かな農産物の生産地でもあり、潤いある水辺空間や田園風景も擁する、まさに利便性が高く暮らしの評価が高い地域です。

この環境を維持し次代に継承していくためには、ここに暮らす私達が真の豊かさを育み伝えていくことが大切です。そのため、今ある地域の魅力を再認識し、多くの人が集まりふれあう環境づくりを進め、人と人との交流から元気とゆとりを創出し、心の豊かさが暮らしの豊かさにつながるよう、地域住民自らが“暮らしやすいまち”を誇れるまちづくりを進めていきます。

② まちづくりの目標

- 人が集まりふれあいある元気なまちづくり
- 今ある地域資源を活かしたまちづくり



③ まちづくりの基本方針

- 1) 将来の発展を見据えつつ、良好な環境と共生する計画的な土地利用を進めます。
- 2) まちの一体感を高める道路交通網の再編強化と歩いて楽しめるみちづくりを進めます。
- 3) 農業や地域産業の振興と多様な交流を創出する活力あるまちづくりを進めます。
- 4) 豊かな自然や景観を守り、潜在資源を再発見し地域の魅力づくりに活かすまちづくりを進めます。
- 5) 災害に強く、地域のふれあいや暮らしやすさを維持するまちづくりを進めます。



・山梨大学医学部南部の土地区画整理事業地周辺



・玉穂ふるさとふれあい広場

(3)地域まちづくり方針

1)将来の発展を見据えつつ、良好な環境と共生する計画的な土地利用を進めます。

地域北部は新山梨環状道路が通り、土地区画整理事業が施行され、山梨大学医学部の立地、商工業の集積など都市化が進行する一方、南部は笛吹川沿いに工業施設が立地するほか、広く田園の広がる地域です。リニア中央新幹線山梨県駅に近接していることから、今後の都市発展の方向を見定め、良好な地域環境を維持するために、地域特性に応じたバランスのとれた計画的な土地利用を進めていきます。

①エリア特性に応じた土地利用誘導とバランスのある発展の推進

■計画的な土地利用の検討

○用途地域の見直し検討

- ・リニア中央新幹線の開業を見据え、地域の実情にあった適切な用途地域の見直し検討

○市街化調整区域の計画的な土地利用の検討

- ・リニア中央新幹線の開業を見据えた土地利用転換検討ゾーンの計画的な土地利用の検討
- ・リニア中央新幹線駅山梨県駅に近接する土地利用転換検討ゾーン（成島・乙黒周辺）の計画的な土地利用の検討
- ・小井川駅に近接する土地利用転換検討ゾーンへの新たな企業や交流施設の誘致
- ・市街化調整区域内既存集落地の適正な土地利用の誘導（都市計画法第34条に基づく条例や地区計画の活用）

■地域特性に応じた良好な市街地の形成

○良好な住宅地の形成

- ・基盤未整備な住宅地の環境改善（道路、下水道等）
- ・土地区画整理事業地区の住宅建設等の促進

○既存商業地の環境改善

○工場等と調和した良好な市街地の誘導（環境の維持向上）

○山梨大学医学部周辺への医療系企業の誘致など先導的な新たな市街地の形成

○市街化区域内に介在する農地の計画的な土地利用の誘導

- ・優良農地と宅地化農地の区分による適切な土地利用の誘導
- ・優良農地に対する生産緑地指定等の検討、市民農園等の利用促進



・山梨大学医学部周辺の土地区画整理事業地

■多様な都市拠点の形成

○地区拠点の形成（玉穂支所周辺）

○都市機能集積拠点の形成（山梨大学医学部周辺（商業拠点を含む））

○流通・物流拠点の形成（成島・乙黒周辺）

○産業拠点の形成（山梨ビジネスパーク、一町畑工業団地、国母工業団地）

○レクリエーション拠点の形成（玉穂ふるさとふれあい広場など）

②適切な土地利用誘導による農地の保全と良好な郊外住宅地の形成

■優良農地の保全と活用

- 優良農地の計画的な保全と農業基盤整備の促進、耕作放棄地や遊休農地の有効利用の促進

■郊外住宅地・集落地の住環境の維持・改善

- 水辺環境の保全と活用（水辺環境の保全、河川改修と連携した河川緑地や親水空間の整備）
- 地区の均衡と特性を踏まえた郊外地域の計画的な土地利用誘導とまちづくりの推進
- 生活道路や排水施設、下水道、公園・広場、コミュニティ施設など生活環境の改善
- 周辺地域との連携による生活利便施設の効率的な配置とアクセス機能の強化

2) まちの一体感を高める道路交通網の再編強化と歩いて楽しめるみちづくりを進めます。

本地域は、新山梨環状道路が通り、中央自動車道甲府南IC、開設が予定されている(仮称)甲府中央スマートICが近接するなど、周辺都市へのアクセスが容易な交通利便性の高い地域です。今後も周辺都市や地域間の連絡を強化するため、リニア中央新幹線山梨県駅と小井川駅を結ぶ道路交通網をはじめ、東西方向及び南北方向の幹線道路の機能強化を図ります。また、交通危険箇所の改善、歩道の整備など歩いて楽しいみちづくりを進めます。

① 地域間、周辺都市を連絡する主要な幹線道路網の再編・強化

■ 骨格的な幹線道路の機能強化

- 新山梨環状道路の早期全線開通の要請
- 地域や周辺都市との連絡を担う主要幹線道路の機能強化((主)甲府中央右左口線、(都)大手二丁目浅原橋線)、(主)韮崎南アルプス中央線)

■ まちの一体感を高め都市間連携を図る東西方向・南北方向の幹線道路の整備

- 市道田富玉穂大津線の整備推進
(リバーサイド地区～中央市役所～リニア中央新幹線山梨県駅方面を結ぶ主要な東西方向の幹線道路)
- (都)大手二丁目浅原橋線の整備促進(県への要請)
- 玉穂南北道路(構想路線)の整備推進(昭和バイパス～山梨大学医学部～韮崎南アルプス中央線を結ぶ南北方向の幹線道路)
- シルクラインの延伸(構想路線)の検討(玉穂地域乙黒～国道140号)



・市道田富玉穂大津線

■ 都市計画道路の整備推進

- 「中央市幹線道路網整備計画」に基づく都市計画道路の整備推進
・(都)玉穂中央通り線、(都)新環状南通り線など未整備区間の整備推進

■ 生活道路など主要道路の改善・整備

- 主要生活道路の改善・整備(市道玉穂豊富線など)
- 狭あい道路や行き止まり道路など、交通安全、防災上問題のある生活道路の段階的な改善整備

② 暮らしやすい歩行者に配慮したみちづくり

■ 安全・快適な歩いて楽しめるみちづくり推進

- 交通量が多く歩道が未整備な主要生活道路の改善整備
- 河川沿い、公共施設周辺などの安全・快適な歩行者・自転車ルートの確保

■ 交通安全対策の強化

- 小井川駅周辺など新山梨環状道路側道の交通安全対策の強化
- 交通安全施設の整備充実(信号、横断歩道、ガードパイプ、カーブミラー等の設置)
- 踏切の改善・安全性の確保
- 小・中学校通学路の交通安全対策の推進(ゾーン30の検討、車の走行速度抑制、街灯設置など)

③ 鉄道やバスなど公共交通の利便性の向上

- リニア中央新幹線山梨県駅とJR身延線を結ぶ新たな交通システムの検討(県との連携)
- 小井川駅の交通結節機能の強化(アクセス道路など)
- コミュニティバスの運行継続

3) 農業や地域産業の振興と多様な交流を創出する活力あるまちづくりを進めます。

本地域は、リニア中央新幹線山梨県駅に近接し、新山梨環状道路が地域を横断するとともに、大学や高度な医療機関をはじめ、商業、工業施設などの多様な都市機能が集積する一方、豊かな地域農業が展開しています。

この恵まれた交通条件、都市集積や地域資源を最大限に活用し、多様な交流の促進、地域産業の振興、多くの地域資源を活用したレクリエーション機能の充実など、住む人訪れる人のふれあいを高める活力と魅力あるまちづくりを進めます。

① 地の利や交通利便性を活かした活力あるまちづくりの推進

■ 地域資源を活かした活力あるまちづくりの推進

- 山梨大学医学部の立地を活用したまちづくりの推進
 - ・ ウェルネス（健康増進）事業の促進、地域産業・企業と連携した地域振興、学生等の人材活用など
- 歴史文化資源や田園景観の活用、良好な眺望景観を活用した公園づくりの検討
- 「中央市ふるさとまつり」など行事・祭りの充実と拡充、地域ぐるみの活性化資源の発掘と取り組みの推進
 - ・ 良好な眺望を活用したイベントの実施（ウォーキング、サイクリングなど）

■ レクリエーション拠点の機能強化と観光機能を担うルート・交流基盤の整備

- 既存のレクリエーション拠点の機能強化（玉穂ふるさとふれあい広場）
- 周辺都市と連携した活性化・交流機能を担う周遊ルートの魅力向上（（主）甲府中央右左口線、（主）韮崎南アルプス中央線、市道田富玉穂大津線）、身近な散歩道づくり
- 駅を活用した活性化の推進
 - ・ 小井川駅周辺の魅力の向上、レンタサイクルの活用など
- 駐車場、トイレ、休憩スポット、案内板・サイン、案内所など主要な交流基盤施設の整備充実

② 農業の活性化

- 優良農地の保全と農業生産基盤の充実
 - ・ 農業基盤整備の推進、都市型農業の確立など
 - ・ 「人・農地プラン」の実質化に向けた取り組み推進
 - ・ 鳥獣害対策の推進
- 耕作放棄地・遊休農地の有効利用
 - ・ 農地中間管理事業による斡旋
- 農業後継者、担い手の育成
 - ・ 農業委員会、中央市農業振興公社等による就農希望者への農地斡旋、受け入れ体制の強化、農業へのインターンシップの導入、認定農業者・エコファーマーへの支援充実など
- 農畜産物のブランド化、販売力の強化
 - ・ 特産品の開発、企業と連携した特産物の付加価値向上、6次産業化の推進、地産地消の推進など
- 農産物ブランド化に資する農村景観の維持・保全
- 最先端のロボット技術やICTを活用したスマート農業の普及推進
- 都市住民との交流促進
 - ・ 道の駅の活用、観光農業の推進、市民農園、観光農園の整備・充実、都市農村交流施設整備など

③地域産業の振興と企業誘致に向けた環境整備の推進

■地域商業の活性化

- 山梨大学医学部周辺の大型店舗集積地の活用と利便性向上
 - ・アクセス道路の整備、コミュニティバスの運行など交通アクセスの充実、地域コミュニティ施設の設置など
- 既存商業地の環境整備と大型店との連携強化

■地域特性を活かしたまちづくりと企業誘致の促進

- 優良企業の誘致促進（土地利用転換検討ゾーンなど）
 - ・企業誘致に向けた基盤整備の検討
 - ・山梨大学医学部周辺への医療系企業の誘致など
- 企業集積を活かしたまちづくり
 - ・工場見学、地場製品のPRなど
- 企業等を支える環境づくり
 - ・県と連携した優遇措置等の支援策の推進、人材・労働力の供給、異業種交流や産学官連携強化など



・イオンタウン

4)豊かな自然や景観を守り、潜在資源を再発見し地域の魅力づくりに活かすまちづくりを進めます。

本地域は、豊かな水辺環境、田園より 360 度を見渡す良好な眺望、潜在的な歴史文化資源など豊かな地域資源に恵まれています。「中央市景観計画」に基づき、地域の魅力をもう一度見直し、その価値をふるさとの景観資源として守り、地域の魅力として育むまちづくりを進めます。

①豊かな自然の保全と活用

- 笛吹川、神明川、鎌田川、山伏川、山王川など良好な水辺環境の保全とレクリエーション活用
 - ・環境教育やふれあいの場づくり、ビオトープ空間の創出など
- 貴重な動植物の生息環境の保全
- 河川や水路などの水質保全と適正な維持管理の推進
 - ・下水道の整備推進、浄化槽の適正な維持管理の推進など

②地域資源を活用した景観まちづくりの推進

■特色ある歴史文化的景観資源の保全と活用

- 田園からの富士山や南アルプス、八ヶ岳等の優れた眺望景観の保全とビューポイントの整備
- 360 度の眺望が広がる田園景観、特徴ある農村・集落地景観の保全と活用
- 永源寺、歓盛院などの歴史的景観資源の保全とまちづくりへの活用
- 身近な歴史文化資源の顕在化とまちづくりへの活用（蔵、土塀、水路、祠、道祖神、古木など）
- 潜在的な人的資源を活用した文化の創造
 - ・本市に縁のある著名人・文化人の活用など
- 洪水により失われた有形の文化、今日まで培われている無形の文化などの再検証と景観まちづくりへの活用
- 伝統文化、行事・祭りの保全と継承（中央市ふるさとまつり、井之口笠踊りなど）

■ふるさとの顔づくりの推進

- ふるさとの顔となるまちの拠点の魅力づくり
 - ・地区拠点（玉穂支所周辺）、都市機能集積拠点及び商業拠点（山梨大学医学部周辺）、流通・物流拠点（成島・乙黒周辺）、産業拠点（山梨ビジネスパーク、一町畑工業団地、国母工業団地）、レクリエーション拠点（玉穂ふるさとふれあい広場）

- 笛吹川、神明川等の骨格的な水と緑の軸、(主)甲府中央右左口線、(主)韮崎南アルプス中央線等の活性化・交流機能を担う主要ルートなどを活用した魅力ある景観ネットワークの形成
- 景観資源を結ぶ身近な散歩道づくり
 - ・ルート設定、ポケットパークやサイン、トイレ等の整備など

■「中央市景観計画」に基づく良好なまちなみ景観の誘導

- 地域特性に応じた適切な景観コントロールの推進
 - ・良好な眺望を守る高さ規制、屋外広告物やごみの不法投棄などの景観阻害要因の改善、良好なまちなみ景観の誘導など
- 協働による景観まちづくりの推進
 - ・ルールづくり、景観形成活動、啓発活動など

③みんなで創る花と水と緑のまちづくり

- 玉穂ふるさとふれあい広場の利活用の促進、魅力の向上
- 既存公園・広場の活用方策・管理運営の見直し
 - ・地域の自主運営、プレイリーダーの育成など
- 水と緑のネットワークづくり
 - ・笛吹川右岸サイクリングロードの充実(県への要請)、散策ルートの整備など
- 身近な緑の保全と活用
 - ・優良農地の計画的な保全、耕作放棄地や遊休農地の有効利用の促進、雑木林、社寺林、屋敷林、大木・古木等の身近な緑の保全
- 地域特性に応じた緑化や協働による緑のまちづくりの促進
 - ・花いっぱい運動、仕組みづくりなど



・山王川沿いの桜並木

5)災害に強く、地域のふれあいや暮らしやすさを維持するまちづくりを進めます。

暮らしやすさは、単に利便性の追求のみではなく、住む人の心の豊かさが日々の暮らしに現れてくるものです。災害への備えなど防災を始めとし、身近な住環境整備や誰もが安心を享受できる福祉のまちづくりを推進するとともに、ふれあいや交流を重ねながら真の暮らしやすさを大切に育むまちづくりを進めます。

①災害に備えた防災まちづくりの推進

■水害・洪水対策の強化

- 浸水想定区域の内水氾濫対策の推進
 - ・農地の洪水調整機能を見直した計画的な保全、開発に伴う調整池の設置による雨水流出量の抑制、公共施設や各戸への雨水貯留施設・浸透柵・緑地の設置、河川改修の促進、上流市町村との調整や流域全体での土地利用調整などの協力体制による流出抑制の促進など
- 水害の危険性の高い主要河川の治水安全対策の強化（国、県への要請）

■水害・地震・火災など災害に強いまちづくりの推進

- 主要な防災拠点の連携強化（玉穂支所など）
- 防災備蓄倉庫設置計画に基づく防災備蓄倉庫の設置
- 指定避難場所（避難所・避難地）の機能の充実
- 緊急輸送道路の機能強化（(主)韮崎南アルプス中央線など）
- 橋梁、道路、上下水道など社会基盤施設の耐震化や液状化対策の推進
- 「中央市小中学校施設長寿命化計画」に基づく非構造部材の耐震化の推進
- 木造密集住宅地の環境改善
 - ・狭あい道路の改善、倒壊の恐れのあるブロック塀の改善など

■地域防災体制の強化

- 既存の防災組織の強化
 - ・自主防災会への支援
- 防災意識の向上・普及啓発
 - ・中央市防災マニュアルの周知
 - ・広域避難の検討、避難方法の検討と周知

②暮らしやすいまちづくりの推進

■暮らしやすさに向けた住環境の改善・整備

- 主要生活道路の改善整備、快適な歩行者空間の確保、交通安全対策の推進
- 地域の身近な公園・緑地の整備促進、指定管理者制度の導入による効率的な維持管理など
- 市街化調整区域の汚水処理方法の検討
 - ・公共下水道、合併処理浄化槽等の適切な汚水処理方法の検討と整備の促進など
- 「中央市公共施設等総合管理計画」に基づく公共施設の適正な維持管理の推進
- 「中央市小中学校施設長寿命化計画」に基づく施設の改修・耐震化
- 防犯まちづくりの推進
 - ・防犯訓練等の充実、地域住民と連携した防犯対策の促進（防犯パトロール等）、街路灯・防犯灯の設置など

■良質な住まいづくりの推進

- 土地区画整理事業地区への定住促進
- 「中央市公営住宅等長寿命化計画」に基づく市営住宅の計画的な改善・建て替えの促進
- 二地域居住・田舎暮らしの促進
 - ・空き家・土地情報の提供など定住促進策の充実

■環境に配慮したまちづくりの推進

- 自然・環境に配慮した環境負荷の軽減、循環型社会の創出など環境にやさしいまちづくりの推進
- ごみなどの不法投棄の防止
 - ・河川上流域からのごみ対策など
- ごみの分別・減量化と資源リサイクルの推進

③暮らしやすさの水準を維持する健康・福祉のまちづくりの推進

■施設のバリアフリー化の促進

- 主要な市民利用施設のバリアフリー化（小井川駅やバス等の公共交通機関、玉穂支所周辺等の主要な公共施設など）
- 大型店舗施設など主要な民間施設のバリアフリー化への適切な誘導
- 重点的なバリアフリー促進ゾーンの検討（玉穂支所周辺、山梨大学医学部周辺、大型店舗集積地周辺、玉穂ふるさとふれあい広場周辺など）

■山梨大学医学部の立地を核とした安心して暮らせる福祉の環境づくり

- 玉穂勤労健康管理センターなど既存の福祉施設や福祉サービスの充実
- 高齢者・障がい者に配慮した生活環境の充実
 - ・居住サポート、公共交通の充実、社会参加の促進など
- 福祉・保健・教育の拠点施設である玉穂総合会館、健康管理センター、B&G プールの有効活用の促進
- 地域のかかりつけ医と山梨大学医学部附属病院との連携などによる在宅医療体制の充実
- 山梨大学医学部と連携した健康プログラムの推進（健康セミナー、健康プロジェクトなど）
- 子育て環境の充実
 - ・「中央市子ども・子育て支援事業計画」に基づく支援の充実
- 健康づくりの推進
 - ・健康づくりの支援充実(健康相談、ウォーキングなど)
 - ・安全・快適な散歩道の設定

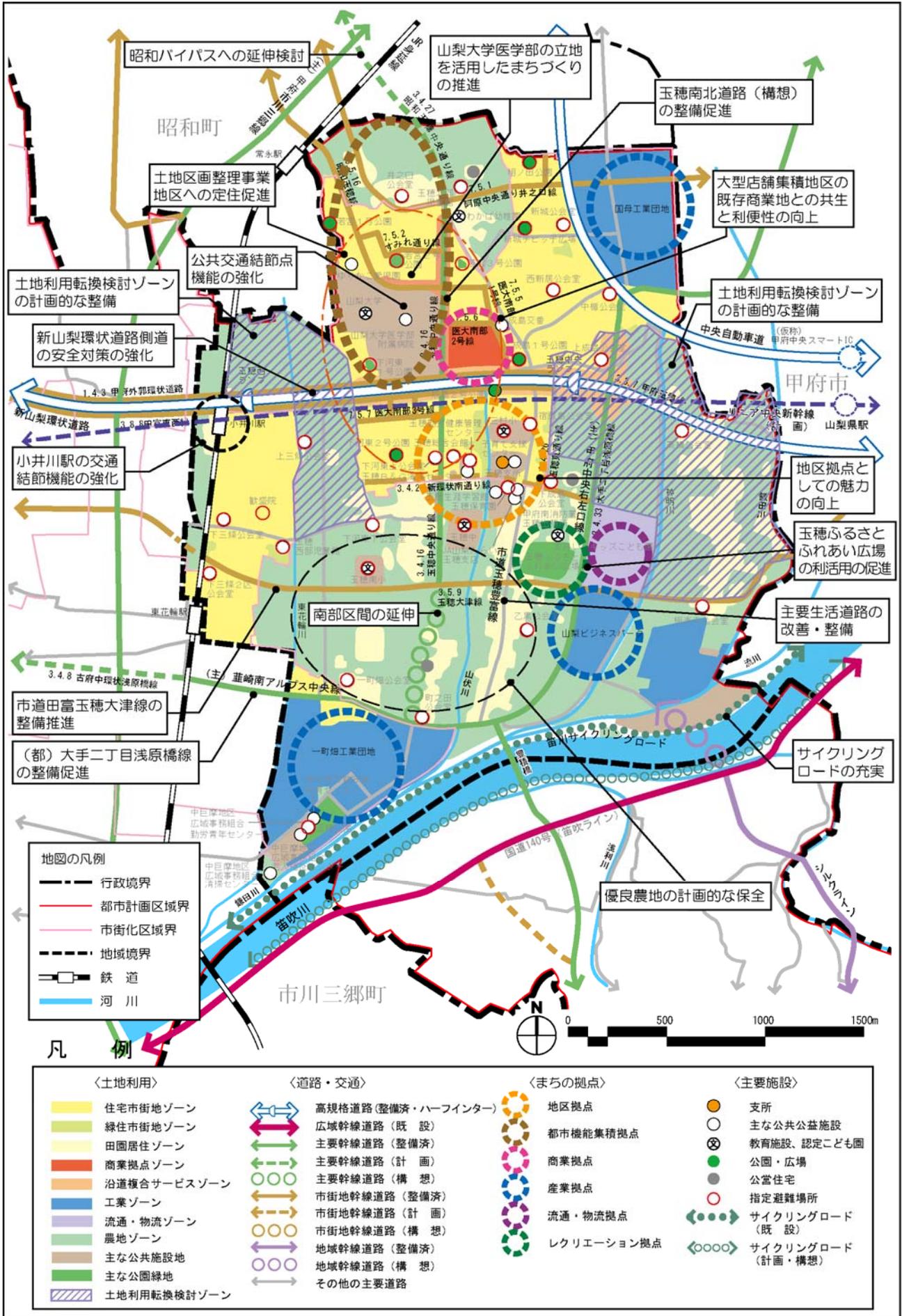


・山梨大学医学部附属病院

■地域のふれあいまちづくりの促進

- 地域住民の交流機会の増進（交流イベントの復活と創出）、若者・学生のまちづくりへの参加促進など

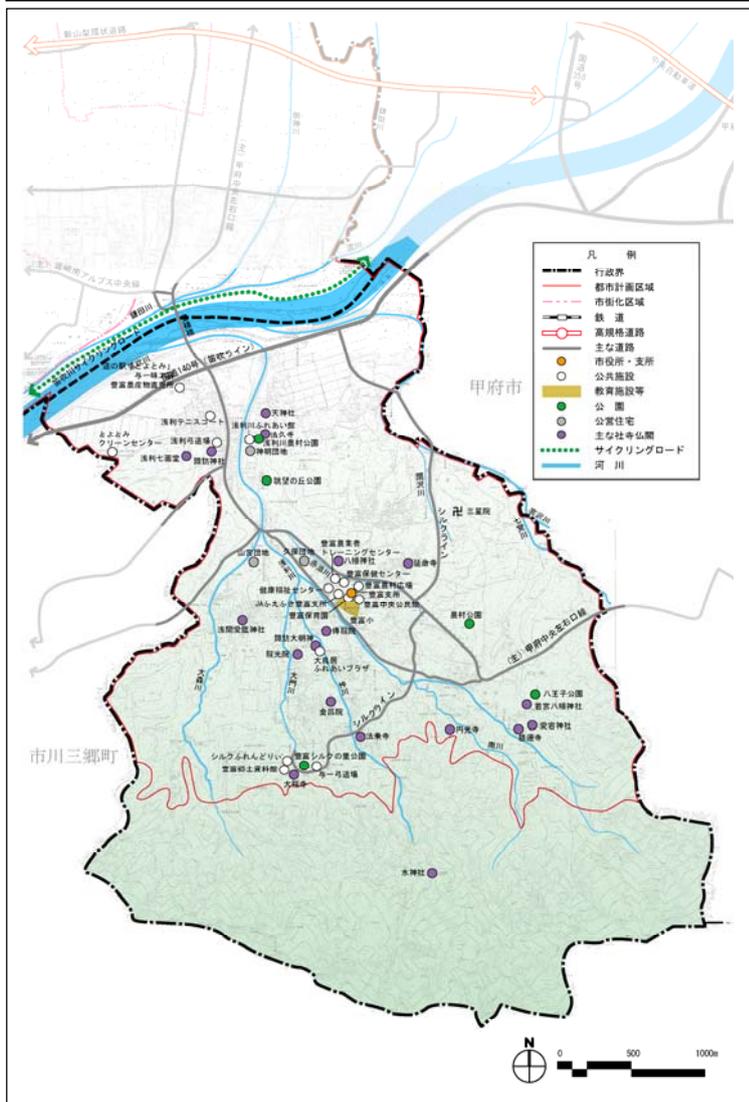
■玉穂地域まちづくり方針図



■ 主要なまちづくりの課題

- 農業や畜産の振興と特産品開発や観光農業との連携を図るとともに、若者の定住を促す地場産業の振興、企業誘致の促進、地域資源を活かした観光等のレクリエーションの魅力づくりなど、地域ぐるみの活性化の取り組みを進めることが必要です。
- 豊かな自然環境を守り・維持するとともに、良好な眺望や山の神千本桜周辺の景観づくり、養蚕の里として発展したふるさとの歴史、数多くの歴史文化資源などをまちづくりへ活用していくことが大切です。
- 田富・玉穂地域との地域間を結ぶ南北の幹線道路の整備と、国道 140 号の機能強化、安全な生活道路の整備、高齢化社会を見据えたバス路線の充実など、地域の連携・交流を支える道路整備と安全で利便性の高いみちづくりが必要です。
- 地域の重要な資源である優良農地の保全、森林の維持と里山の保全など、農地と良好な里山集落環境を守り、環境と共生した土地利用を進めることが大切です。特に、物流施設等の立地が進み、新たなごみ処理施設の建設が予定されている国道 140 号周辺においては、地域の魅力を活かした計画的な土地利用の誘導が必要です。
- 環境と共生し豊かに住み続ける生活基盤整備をはじめとし、少子高齢化に対応した住環境づくり、みんなで地域の安全・安心を守るまちづくりが大切です。また、恵まれた地域のつながり・人材を活かし、豊かなコミュニティを育むことが望まれています。

■ まちづくり市民会議(平成 20 年度開催)における住民意向



■ 主な地域住民意向—まちづくり市民会議

- ・ 優良農地の保全、遊休農地・耕作放棄地の有効活用
- ・ 都市近郊の良好な住環境・住宅地を守る
- ・ 地域を結ぶアクセス道路の改善・強化
- ・ 国道 140 号の渋滞解消、幹線道路の維持・管理
- ・ バス交通の充実、早急な通学路の安全対策
- ・ 暮らしにつながる食べていける農業を
- ・ 農業後継者の育成と農業主体の雇用促進
- ・ 農業と観光の連携、農業への積極的な行政支援
- ・ 若者の定住対策と企業誘致の促進
- ・ 美しい農村風景・景観を守る
- ・ 里山の緑を守る、きれいな水を守る
- ・ ホタル、シジミ等の生態系の保全
- ・ 丘陵地の良好な眺望景観を守り活かす
- ・ 駐車場や遊歩道など千本桜周辺の整備
- ・ 身近な道路、狭い水路・側溝の改善
- ・ 公民館等の公共施設の維持・管理と有効活用
- ・ 遅れている情報通信基盤の整備
- ・ 河川の治水対策、急傾斜地など地滑り対策の強化
- ・ 緊急時避難場所の見直し、地域防災体制の強化
- ・ 地域の安全をみんなで見守り、維持する
- ・ 高齢者など交通弱者の交通手段の見直し
- ・ 子ども達の安全な通学路の確保
- ・ 地域で小中学校一貫教育
- ・ 祭り・行事・イベントの活性化と継承など



・ まちづくり市民会議ワークショップ

(2) 豊富地域の将来像

① 将来像と基本理念

■ 将来像

**地域の暮らしを守りながら、
みんなのつながりのなかで誰もが元気に暮らすまち**

■ 基本理念

豊かに住み続けられるまちづくりをみんなで考える

地域は、かつては養蚕の里として、豊かな自然に守られた穏やかな暮らしを育んできました。集落の後背には緑濃い森林や山の神千本桜等の四季折々の美しい風景、丘陵地から甲府盆地を眺める風景、地域全体に歴史文化のたたずまいが見え、現在は、農村や里山風景の中であたたかなコミュニティや交流を育んでいます。

地域の営みの中で培われたこれらの大切な資産を損なうことのないよう、豊かに住み続けられるまちづくりを地域みんなで考えることが大切です。この暮らしや地域のつながりを守り、豊かな環境のなかで高齢者も子ども達も誰もが元気に暮らすまちづくりを進めていきます。

② まちづくりの目標

- 地域がうるおうまちづくり
- 地域が自立できるまちづくり
- 農業を続けられるまちづくり



③ まちづくりの基本方針

- 1) 農業と観光・地域産業が連携し、地域がうるおう活気あるまちづくりを進めます。
- 2) 美しい自然や農村里山風景を守り、ふるさとの景観を継承するまちづくりを進めます。
- 3) 地域との連絡を強化し、安全で利便性の高い交通環境づくりを進めます。
- 4) 優良農地を保全し、良好な住環境を守る環境と共生した計画的な土地利用を進めます。
- 5) 地域の安全・安心を守り、豊かに住み続ける住環境づくりを進めます。



・豊富シルクの里公園



・道の駅とよとみ

(3) 地域まちづくり方針

1) 農業と観光・地域産業が連携し、地域がうるおう活気あるまちづくりを進めます。

本地域は、笛吹川の低地から丘陵地にかけて果樹農地が広がる穏やかな里山集落地域となっていますが、近年、後継者不足などにより基幹産業である農業の活力低下が懸念されています。地域の活力を高めるため、道の駅とよとみの立地や魅力ある地域資源を活用し、農業と観光との連携やレクリエーション拠点の形成、活性化と交流機能を担うレクリエーションの場づくり、企業誘致による就労の場の確保など、地域の生業である農業を中心とした活性化の取り組みを進めていきます。特に、国道 140 号周辺においては、物流施設の建設や、新たなごみ処理施設の建設計画があることから、地域の魅力を活かした活性化を図るため良好な地域環境と共生した計画的な土地利用の誘導を進めます。

① 地域がうるおう農業活性化の推進

- 優良農地の保全と農業生産基盤の充実
 - ・農業基盤整備の推進、都市型農業の確立等
 - ・「人・農地プラン」の実質化に向けた取り組み推進
- 耕作放棄地・遊休農地の有効利用
 - ・観光と連携した体験農業の普及促進(体験農場など)
- 農業後継者、担い手の育成
 - ・農業委員会、中央市農業振興公社等による新規就農者への支援充実、就農希望者への農地斡旋、受け入れ体制の強化、農業へのインターンシップの導入、認定農業者・エコファーマーへの支援充実など
- 農畜産物のブランド化と道の駅とよとみの体制強化など販売力の強化
 - ・トウモロコシ等の野菜、ブドウ・モモ・スモモ等の果樹、シルクなど特産品の開発、企業と連携した特産物の付加価値向上、6次産業化の推進、地産地消の推進、野菜直売、農産物直売所の充実、買い物ツアーの企画・実施など
- 農畜産物のブランド化に資する農村景観の維持・保全
- 農畜産物の生産と連携した企業誘致の促進
 - ・醸造用ブドウの生産とワイナリーの誘致など
- 最先端のロボット技術やICTを活用したスマート農業の普及推進
- 都市住民との交流促進
 - ・道の駅とよとみの活用、市民農園、観光農園の整備・充実、都市農村交流施設の整備など
- 鳥獣害対策の推進

② 地域資源の活用と産業や観光が連携した活気あるまちづくりの推進

■ 地域資源を活かした観光と交流のまちづくりの推進

- 豊かな森林・自然資源の観光利用の促進
 - ・森林セラピー、環境学習の推進など
- 特色ある歴史文化資源、丘陵地の里山農村景観、眺望景観の観光利用
 - ・小広場、眺望場所の整備、ネットワークづくりなど
- 「中央市ふるさとまつり」、「桃と桜のサイクリング」、「スイートコーンマラソン&ウォーク」など祭り・イベントの充実とPR

■ レクリエーション拠点の機能強化と観光・交流機能を担うルート・基盤の整備

- 日本三名峰眺望遊歩道の充実
- 既存のレクリエーション拠点の魅力づくり
 - (道の駅とよとみ周辺、豊富シルクの里公園周辺など)
- シルクの里交流軸の機能強化と魅力づくり(シルクライン、市道 1016 号線)
- 周遊ルートの魅力向上(国道 140 号、(主)甲府中央右左口線など)
- 駐車場、トイレ、休憩スポット、案内板・サイン、案内所など主要な交流基盤施設の整備・充実

③新たな地域産業の育成に向けた環境整備の推進

- 優良企業の誘致促進
- リニア中央新幹線山梨県駅の開業や中部横断自動車道の全線開通を見据えた企業誘致の促進
- 物流施設の建設や新たなごみ処理施設の建設計画が進む国道140号周辺の計画的な土地利用の誘導（特定用途制限地域の指定検討など）
- 産官学連携による新たな地域産業の育成
- 企業等を支える環境づくり
 - ・畜産業など地場産業への支援充実、異業種交流の促進、新たな起業への支援の充実など
- 雇用や定住促進策の推進
 - ・就労の場の確保、若者や子育て世代の定住促進、耕作放棄地・空き家の有効活用、UJI ターンの受け皿づくりなど



・物流施設の建設が進む国道140号周辺

2)美しい自然や農村里山風景を守り、ふるさとの景観を継承するまちづくりを進めます。

本地域の田園から眺める市街地後背の森林や山の神干本桜などの美しい風景は、本市の象徴的なふるさとの景観となっています。この美しい風景と、古くは養蚕の里として知られた丘陵地の里山景観を損なうことのないよう大切に守るとともに、「中央市景観計画」に基づき、眺望景観や数多くの歴史文化的資源を活かした景観まちづくりを推進します。

①きれいな水・森・生態系の保全と活用

- 森林資源の保全と活用
 - ・計画的な間伐、育林などによる森林景観整備の推進、適正な維持管理、自然とのふれあいの場づくり（森林セラピー、森林環境学習など）
- 笛吹川、浅利川など良好な水辺環境の保全とレクリエーション活用
 - ・環境教育やふれあいの場づくり、ビオトープ空間の創出など
- 河川や水路などの水質保全と適正な維持管理の推進
- ホテルやメダカなど貴重な動植物の生息環境の保全
 - ・生態系に配慮した多自然工法の導入など

②美しい農村風景・景観を守り活かすまちづくりの推進

■シルクの里の歴史文化的景観資源の保全と活用

- シルクライン沿道や丘陵地からの甲府盆地などの優れた眺望景観の保全とビューポイントの整備
- 特徴的な里山景観や丘陵地の果樹等の農村景観の保全（里山保全の指定と支援の推進）
- 王塚古墳、浅利与一層塔と五輪塔、大福寺、延命寺などの歴史的景観資源の保全と活用
- 身近な歴史文化資源の顕在化とまちづくりへの活用（旧豊富村役場庁舎の有効活用、蔵、土塀、水路、塚、祠、道祖神、古木など）
- 伝統文化、行事・祭りの保全と継承



・旧豊富村役場庁舎

■山の神千本桜周辺などふるさとの顔づくりの推進

- 山の神千本桜周辺のふるさと景観拠点の保全と魅力づくり
- 日本三名峰眺望遊歩道の充実
- 多様なまちの拠点の魅力づくり（豊富支所周辺、道の駅とよとみ、豊富シルクの里公園など）
- 笛吹川等の骨格的な水と緑の軸、活性化・交流機能を担う主要ルートなどを活用した魅力ある景観ネットワークの形成（シルクライン、国道 140 号、（主）甲府中央右左口線など）
- 景観資源を結ぶ身近な散歩道づくり
 - ・ルート設定など

■「中央市景観計画」に基づく良好なまちなみの誘導

- 地域特性に応じた適切な景観コントロールの推進
 - ・良好な眺望を守る高さ規制、屋外広告物、ごみの不法投棄などの景観阻害要因の改善、良好な集落景観の誘導など
- 協働による景観まちづくりの推進
 - ・景観形成活動、啓発活動など

③自然の緑の再生と身近な緑のまちづくり

- 豊富シルクの里公園周辺の機能充実・魅力の向上、山の神千本桜周辺の維持管理、既存の公園・広場等の機能の充実
- 水と緑のネットワークづくり
 - ・笛吹川左岸サイクリングロードの充実など
- 身近な緑の保全と活用
 - ・優良農地の計画的な保全、耕作放棄地や遊休農地の有効利用の促進、里山の保全と活用、雑木林、社寺林、屋敷林、大木・古木等の身近な緑の保全
- 地域特性に応じた緑化や協働による緑のまちづくりの促進
 - ・市民による花植え活動、仕組みづくりなど

3)地域との連絡を強化し、安全で利便性の高い交通環境づくりを進めます。

本地域は、笛吹川により市内の他地域と隔てられ、道路網による連絡が脆弱な状況にあります。今後も地域間の連絡を強化するため、特に南北方向の幹線道路の機能強化を図るとともに、通学路をはじめとした歩道整備や生活道路の改善・整備、バス運行の充実など、安全で利便性の高い交通環境づくりを進めていきます。

①中山間地や地域を結ぶ主要な幹線道路の機能強化

■中山間地の骨格を形成する幹線道路の機能強化

- （主）甲府中央右左口線の機能強化（県への要請）
- 浅利バイパスの整備推進（浅利地区～市街地）
- シルクラインの延伸検討（構想）、市道 1016 号線の機能強化
- 幹線道路の適切な維持・管理の充実（舗装、交通安全施設など）

■その他の主要道路の改善・整備

- 主要生活道路の改善整備（市道、農道、林道など）



・（主）甲府中央右左口線

②通学路の安全対策など安心・快適な暮らしのみちづくり

■通学路など交通安全対策の強化

○通学路の交通安全対策の推進

・歩道整備、自転車レーン・ガードパイプの設置、車の走行速度の抑制、ゾーン 30、街灯設置など

○交通安全施設の整備充実（信号、横断歩道、ガードパイプ、カーブミラー等の設置）

■安全・快適な歩行者のみちづくりの推進

○狭あい道路や行き止まり道路など交通安全、防災上問題のある主要な生活道路の段階的な改善整備

○交通量が多く歩道が未整備な幹線道路、通勤・通学ルートとなる道路の歩道整備・路側帯の確保等

○安全・快適な歩行者・自転車ルートの確保

・散歩道の設定、笛吹川左岸サイクリングロードの整備など

③バスなど公共交通の充実・利便性の向上

○バス利便性の向上（コミュニティバスの運行など）

4)優良農地を保全し、良好な住環境を守る環境と共生した計画的な土地利用を進めます。

近年、本地域では都市化の進展に伴い、農地の減少や耕作放棄地の増加、国道 140 号沿道の開発の進行、市街地縁辺の虫食いの宅地化などの土地利用上の問題が顕在化しています。地域の特色である緑豊かな里山環境を守るため、優良農地や自然環境の維持・保全を図るとともに、適正な土地利用の誘導を図るなど、環境を守り環境と共生した計画的な土地利用を進めます。

①適切な土地利用誘導による農地の保全と良好な住環境の形成

■優良農地の保全、集落地域の良好な住環境の維持・保全

○優良農地の計画的な保全と農業基盤整備の促進、耕作放棄地や遊休農地の有効利用の促進

○無秩序な開発の抑制、環境・景観に配慮した住環境整備、民間開発への適切な指導

○生活道路や排水施設、公園・広場、コミュニティ施設など生活環境の改善

■都市化が進む地域の計画的な土地利用の誘導

○都市化が進行する地域などにおける、無秩序な開発の抑制と一定のルールに基づく適正な土地利用の誘導（地区計画の活用など）

■魅力あるまちの拠点の形成

○豊富支所周辺の多様な機能が複合した地区拠点の形成（農村広場、保健センターなど）

○レクリエーション拠点の形成（豊富シルクの里公園周辺、道の駅とよとみ、山の神千本桜周辺など）

②豊かな自然資源や里山の維持・保全と活用

○地域南部に広がる森林資源の保全とレクリエーション活用、適正な維持管理の推進

・山の神千本桜周辺の保全、森林セラピー等のレクリエーション活用

○水辺環境の保全と活用

○里山の保全と、自然とのふれあいの場としての活用の推進

5)地域の安全・安心を守り、豊かに住み続ける住環境づくりを進めます。

本地域の人口は3地域で最も少なく、少子高齢化も進行しており、地域の活力も低下しています。今ある施設の利活用や維持管理の推進などの生活基盤整備、少子高齢化に対応した福祉の充実と地域コミュニティの育成、治山・治水対策などの防災まちづくりとあわせた地域で地域を守る仕組みづくりなどを推進し、恵まれた環境を維持し、安全・安心で、豊かに暮らし続けることのできる住環境づくりを進めます。

①みんなで守る地域の防災まちづくりの推進

■水害や土砂災害に対する安全対策の強化

- 主要な河川の治水安全対策の強化（国、県への要請）
- がけ崩れ・土石流・地すべり等の土砂災害対策の強化、土砂災害警戒区域などの危険区域に対する安全対策の推進
- 土砂災害警戒区域及び特別警戒区域の周知

■水害・土砂災害・地震・火災など災害に強いまちづくりの推進

- 主要な防災拠点の連携強化（豊富支所など）
- 防災備蓄倉庫設置計画に基づく防災備蓄倉庫の設置
- 指定避難場所（避難所・避難地）の機能の充実
- 緊急輸送道路の機能強化（国道140号など）
- 橋梁、道路、上下水道など社会基盤施設の耐震化や液状化対策の推進
- 「中央市小中学校施設長寿命化計画」に基づく非構造部材の耐震化の推進
- 土砂災害特別警戒区域における開発行為等に対する適正指導の強化
- 集落地の防災向上に向けた環境改善
 - ・狭あい道路の改善、倒壊の恐れのあるブロック塀の改善など



・豊富支所

■地域防災体制の強化

- 既存の防災組織の強化
 - ・自主防災会への支援
- 防災意識の向上
 - ・中央市防災マニュアルの周知
 - ・広域避難の検討、避難方法の検討と周知

②安心・豊かに住み続ける住環境づくりの推進

■あるものを活かす身近な生活環境の改善・整備

- 周辺地域との連携による生活利便施設の効率的な配置とアクセス機能の強化
- 主要生活道路の改善整備、快適な歩行者空間の確保、交通安全対策の推進
- 身近な公園・広場の整備促進、既存公園の管理運営の見直しなど
- 上下水道施設の計画的な維持・改修、補助制度を活用した合併処理浄化槽の設置
- 溢水の多い水路・側溝の改善
- 「中央市公共施設等総合管理計画」に基づく公共施設の適正な維持管理の推進
- 「中央市小中学校施設長寿命化計画」に基づく施設の改修
- 地域で見守る地域の安全対策の推進
 - ・防犯訓練等の充実、地域住民と連携した防犯対策の促進、街路灯・防犯灯設置と適切な維持管理など

■環境と共生した良質な住まいづくりの推進

- 「中央市公営住宅長寿命化計画」に基づく市営住宅の改善・建て替えの促進
- 定住・移住の促進
 - ・二地域居住・田舎暮らしの促進、空き家・土地情報の提供など定住促進策の充実

■環境に配慮したまちづくりの推進

- 新たなおみ処理施設の整備促進
- 自然・環境に配慮した環境負荷の軽減、循環型社会の創出など環境にやさしいまちづくりの推進
- ごみ不法投棄の防止、ごみの分別・減量化と資源リサイクルの推進
 - ・ごみ分別の拡充など
- とよとみクリーンセンターの活用と運用の効率化
 - ・有機肥料の販売促進など

③少子高齢化に対応した福祉のまちづくりの推進

■施設のバリアフリー化の促進

- 主要な住民利用施設のバリアフリー化（バス等の公共交通機関、豊富支所周辺、道の駅とよとみ等の主要な公共施設など）
- 身近な商業施設、病院、金融機関等の主要な民間施設のバリアフリー化への適切な誘導
- 重点的なバリアフリー促進ゾーンの検討（豊富支所周辺、道の駅とよとみ周辺、豊富シルクの里公園周辺など）

■少子高齢化へ対応した安心して暮らせる福祉の環境づくり

- 豊富健康福祉センター、豊富保健センターなど既存の福祉施設や福祉サービスの充実
- 高齢者・障がい者に配慮した生活環境の充実
 - ・居住サポート、公共交通の充実、社会参加の促進など
- 地域のかかりつけ医と山梨大学医学部附属病院との連携などによる在宅医療体制の充実
- 子育て環境の充実
 - ・「中央市子ども・子育て支援事業計画」に基づく支援の充実
- 健康づくりの推進
 - ・健康づくりの支援充実(健康相談、健康教室、ウォーキングなど)
 - ・安全・快適な散歩道の設定



・豊富児童館

■恵まれたご近所関係など地域コミュニティを育むまちづくり

- 地域の自立と地域で進めるまちづくりの検討、地域のつながりの維持（少子高齢化が進む地域の人口構造変化へ対応したまちづくりの推進など）、恵まれた人材の活用など

■豊富地域まちづくり方針図

